

第3回 素形材分野勉強会

JSTイノベーションプラザ東海&鈴鹿市“企業懇話会”
企業の技術力強化に向けた「3つの勉強会」

主催：(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ東海・鈴鹿市

★日時：平成24年2月10日(金) 15:00～17:30

★場所：鈴鹿市役所 12階会議室(鈴鹿市神戸一丁目18番18号)

1. 主催者挨拶 15:00～15:05

(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ東海

2. 講演「(独)産業技術総合研究所中部センターの研究及び産学官連携業務の紹介」 15:05～15:20

(独)産業技術総合研究所中部センター イノベーションコーディネータ 山東睦夫 氏

3. 講演「CFRPの切削加工における工具形状の影響」 15:20～16:00

(独)産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 碓井雄一 氏

4. 講演「耐熱性に優れた新規硬質材料の開発と難削材料への応用」 16:10～16:50

(独)産業技術総合研究所中部センター サステナブルマテリアル研究部門 松本章宏 氏

5. 意見交換・名刺交換 16:50～17:30

■■■下記に記載の上、FAX【059-382-0304】かメールでご連絡ください■■■
締め切り2月6日(月)

事業所名 事業者名			
TEL		FAX	
所在地(住所)			
役職・氏名			

◆◆お問合わせ・送付先◆◆

鈴鹿市 産業振興部 産業政策課 産業政策グループ

TEL: 059-382-9045(直通) FAX: 059-382-0304

E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp

勉強会事業の概要

鈴鹿市では、新たな市内の産業集積の方向として、「次世代自動車産業」、「先端材料活用(生産・加工)産業」、「住生活産業(医療福祉介護食品等)」の3つの分野の集積を目指しております。市内の中小企業の皆さまにも、こういった分野に目を向けていただき事業基盤の強化に繋げていただこうと、昨年度から勉強会を実施し、今年度も「3つの勉強会」(電子デバイス、素形材、福祉介護)の実施を予定しております。

今回の第3回「素形材分野勉強会」もその中の1つとして実施いたします。

第1回勉強会では、大学の先生と実際に取り扱っている中小企業の立場からCFRPに関するご講演をいただきました。第2回は素材メーカーの立場からご講演をいただきました。そして今回、第3回「素形材分野勉強会」では、最新の研究開発を行っている研究者の立場から、CFRPに関するご講演をいただきます。概要につきましては下記をご覧くださいまして、是非とも多くの企業の皆様のご参加をお待ちいたしております。企業の皆さまが新たな材料分野への参入を考えられる際にもご参考になろうかと思っております。【お申込み:鈴鹿市産業政策課まで】

講演の概要

2. 講演「(独)産業技術総合研究所中部センターの研究及び産学官連携業務の紹介」

(独)産業技術総合研究所中部センター イノベーションコーディネータ 山東睦夫 氏

中部センターの研究拠点としての研究分野と最近の研究成果を紹介すると共に、中部産学官連携センターにおいて取り扱っている連携業務について紹介いたします。

3. 講演「CFRPの切削加工における工具形状の影響」

(独)産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 碓井雄一 氏

CFRPは高強度の炭素繊維と軟らかい樹脂の複合材料であり、加工条件の設定が難しい。切削加工を行う上では、適切な材質の工具を使うとともに、工具形状・切削条件の設定が重要である。ここでは特に工具形状に注目してCFRPの加工特性について紹介します。

4. 講演「耐熱性に優れた新規硬質材料の開発と難削材料への応用」

(独)産業技術総合研究所中部センター サステナブルマテリアル研究部門 松本章宏 氏

産業技術総合研究所では、レアメタル対策に資する硬質材料の開発を進めています。その中で、レアメタルであるコバルト(Co)を含まない超硬合金WC-FeAl(タングステン・炭素-鉄・アルミニウム)製のエンドミルや金型などを試作開発しました。FeAl金属間化合物を用いたWC-FeAlは耐酸化性・耐熱性に優れており、難削材切削用の硬質材料としての高いポテンシャルを有します。特に、炭素系皮膜と高い密着性を示すため、DLC、TiCN等のコーティング工具へと展開を図っています。本講演ではさらに、CFRP切削への開発の方向性についても言及します。